変更・査証欄無

一般旅券発給申請書

残存期間同一用

厳折り曲げ禁げ

受理年月日		受理番号		—	
窓口記入欄		区分	制限なし / 二重発給 / 記載変更 / 入力あり / 裏面あり	確認	
10年 / 5年 / 変更残存	発行年月日	交付年月日	旅券番号		

注意　一、太枠内の所定の欄に黒又は青の濃いインクで枠からはみ出さないよう記入してください。
二、この用紙は機械で読み取りますので折らないでください。折った場合は、申請書に改めて記入をお願いする場合もあります。
三、我が国固有の領土である北方領土（択捉島、国後島、色丹島及び歯舞群島）は渡航先には含まれません。
四、申請書に虚偽の記載をして旅券の交付を受けた場合等は、旅券法（五年以下の懲役、三百万円以下の罰金）及び刑法によって処罰されます。
五、この申請書に記入した氏名の表記は、外務大臣又は領事官が特に必要と認める場合を除き変更することができません。
六、記載の個人情報は、旅券事務の適正な執行の確保、不正取得・使用の防止等旅券秩序の維持、在外選挙事務及び邦人援護並びにその他必要に応じ国際協力のために利用します。

写真
4±2
34±2
30±2
写真は貼らずにお持ちください
注意
1．申請者本人のみ
2．6ヶ月以内に撮影したもの
3．正面、無帽、無背景
4．縦45mm×横35mm
（ふちなし。頭は頭頂から顎までが34mm±2mm）
＊提出された写真は旅券に転写されます。
＊裏面は氏名を記載してください。

所持人自署

氏名	ヨミカタ	(姓)	(名)
	姓名		
ヘボン式ローマ字	(姓)		
	(名)		
性別	□男　□女	生年月日	年　月　日
本籍	(都道府県名)	市区郡以下	

※過去に申請後に旅券を受領しなかったことがありますか。　□ある　□ない
※この申請（残存有効期間同一旅券）のため返納する、今お持ちの有効な旅券について記入してください。

この署名は旅券にそのまま転写されます。白い部分からはみ出さないように署名してください。

所持人自署については申請者本人が署名してください。　ただし、乳幼児など申請者が自ら署名することが困難な場合は、法定代理人などが代筆することができます。
その場合には、「▷◁」印より上に申請者の氏名を記入し、「▷◁」印より下に記入者の氏名及び申請者との関係を記入してください。
（例えば、by A.YAMADA(Mother)
や by A.YAMADA(Father)など）

旅券番号		発行年月日（西暦）	年　月　日
上記旅券に記載の姓のローマ字			
この申請書を提出する日の年齢	満　歳	私は上記番号の旅券と残存有効期間が同一の一般旅券の発給を希望します。	□記載事項に変更が生じたため　□査証欄に余白がなくなったため
		上記旅券冊子の別	□10年（えんじ）　□5年（紺）

現住所　〒　　メールアドレス

電話　　携帯　　その他勤務先など

居所　〒　　居所で申請する場合は居所も記入してください

電話

日本国内の緊急連絡先　〒

氏名　　申請者との関係　　電話

刑罰等関係

※次の各事項に該当しているか否か、□をチェックしてください。（本人又は法定代理人が記入してください。）

	はい	いいえ
1.外国で入国拒否、退去命令又は処罰されたことがありますか。	□	□
2.現在日本国法令により起訴され、判決確定前の状態ですか。	□	□
3.現在日本国法令により、仮釈放、刑の執行停止又は執行猶予の処分を受けていますか。また刑の執行を受けなければならない状態にありますか。	□	□
4.旅券法違反で有罪となり、判決が確定したことがありますか。	□	□
5.日本国旅券や渡航書を偽造したり、又は日本国旅券や渡航書として偽造された文書を行使して(未遂を含む)、日本国刑法により、有罪となり、判決が確定したことがありますか。	□	□
6.国の援助等を必要とする帰国者に関する領事官の職務等に関する法律を適用され外国から帰国したことがありますか。	□	□

外国籍の有無

現在外国の国籍を有していますか。　はい □　いいえ □
「はい」の場合は、下の項目にご記入ください。
国籍
取得年月日　　年　月　日
どのような方法で取得しましたか。
・外国籍の父又は母の子として出生　□
・外国での出生　□
・外国人との婚姻又は養子縁組　□
・帰化申請又は国籍取得届出　□

外務省

都道府県

外務省コード欄　03 13条　10 別名併記　14 暦外確認　0A 別人　0C 解除　0E 職権　0H 特例1　0K 特例3
04 対立地域　11 非ヘボン　15 暦外表示　0B 失効　0D その他訂正　0G 再作成　0J 特例2

官庁コード

（別記第３号の２様式）　　用紙の大きさはA4又はレターサイズ